

## 多焦点眼内レンズ挿入眼の術後視機能に関する研究

### 研究協力をお願い

当科では「多焦点眼内レンズ挿入眼の術後視機能に関する研究」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

### 1. 研究の対象

2021 年 2 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に日本医科大学武蔵小杉病院眼科にて白内障手術で多焦点眼内レンズを挿入された患者さんのうち、20 歳以上で、白内障以外の眼疾患を有さず、術中に合併症を認めなかった方を対象とします。

### 2. 研究の目的

多焦点眼内レンズは単焦点眼内レンズに比べ、良好な視機能を発揮するまでには時間を要するとされています。本研究の目的は当院における多焦点眼内レンズ挿入眼の術後早期（術翌日、1 週間、1 ヶ月）の視機能の経過を明らかにすることです。具体的には、近方・中間・遠方（30 cm、50 cm、5 m）それぞれの視力の推移を検討するとともに、ハローやグレアなどの視覚異常の自覚症状の程度を評価し、多焦点眼内レンズ挿入後の視機能回復の過程を評価します。

### 3. 研究の方法

この研究は日本医科大学武蔵小杉病院で実施する研究で、研究責任者は眼科宮田康平、研究事務局は眼科玉川太一です。

2021 年 2 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに日本医科大学武蔵小杉病院眼科にて、白内障手術で多焦点眼内レンズ（AMO 社 Synergy）を挿入された患者さんの視力、屈折値、コントラスト感度、瞳孔径のデータをカルテから抽出し、解析を行います。

研究実施期間は実施許可日から 2026 年 3 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

### 4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、視力、屈折値、コントラスト感度、瞳孔径など

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、情報をインターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータに保管し、あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

## 5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学武蔵小杉病院 眼科 玉川太一  
〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町 1-383  
電話番号 : 044-733-5181 (代表) 内線 : 3301  
メールアドレス : t-tamagawa@nms.ac.jp